

令和3年度佐倉市地域包括支援センターの事業評価について

1 概要

全国統一のセンター指標（55項目）に、佐倉市独自の評価指標（45項目）を加え、計100項目で、地域包括支援センターの運営及び業務を総合的に評価した。

2 評価対象

佐倉市地域包括支援センター 5か所

3 評価方法

(1) 業務チェックシート

- ① 地域包括支援センターに評価指標（業務チェックシート）を配布し、地域包括支援センター内部で自己評価を行う。
- ② 自己評価したチェックシートをもとに、市職員が地域包括支援センターに聞き取り調査を行い、各項目の取り組み状況を3段階評価※しながら、課題の把握を行う。
※ ○：標準的な取り組みができています
◎：センター独自の工夫した取り組みができています
▲：標準的な取り組みに満たない状況である
- ③ 前年度からの変更点は、佐倉市独自の評価指標40項目に新たに5項目加え、45項目とした。

(2) アンケート調査

- ① 調査対象
ア. センター利用者 イ. 民生委員・児童委員
ウ. 居宅介護支援事業所（ケアマネジャー） エ. 地区社会福祉協議会
- ② 前年度からの変更点
ア. 調査対象数の増
センター利用者を50人から100人へ、民生委員を15名から30名へ増加。
イ. アンケート項目の追加
・センター職員の接遇・対応について
・建物内の新型コロナウイルス感染症対策について

4 評価の結果

「資料1-1 令和3年度佐倉市地域包括支援センターの事業評価について・評価のまとめ」、「資料1-2 地域包括支援センター事業評価結果」、「資料1-3 アンケート調査結果」のとおり

5 評価後の取り組み

- ① 5つの地域包括支援センターの平均よりも低い項目がある取り組みについて要因を分析し、業務の標準化を図るための改善策の検討を地域包括支援セン

ターと共に行う。

- ② 評価の結果を反映した令和4年度地域包括支援センター運営方針の策定、業務委託仕様書の作成を行う。

「評価のまとめ」 各項目の◎または○の得点率

	項目数	地域包括支援センター					平均
		志津北部	志津南部	臼井・千代田	佐倉	南部	
1 組織運営体制等	29	96.6%	93.1%	96.6%	96.6%	93.1%	95.2%
2 個別業務							
(1) 総合相談支援	10	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
(2) 権利擁護	14	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援	9	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
(4) 地域ケア会議	11	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
(5) 介護予防ケアマネジメント・介護予防支援	7	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
3 事業間連携（社会保障充実分事業） 医療介護・認知症施策・生活支援体制整備	11	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
4 佐倉市独自の評価指標（介護予防事業・その他）	9	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
合計 （◎または○の得点率）	100	99.0%	98.0%	99.0%	99.0%	98.0%	98.6%
内 訳：◎または○の数		99	98	99	99	98	99
◎の数		38	43	41	44	45	42
▲の数		1	2	1	1	2	1

〔分析〕

1 組織運営体制等について

- ・年度当初までにセンター職員を対象とした研修計画を市が示していなかったため、全センター▲と評価した項目があった。研修計画を策定し、示していくよう改善する。

全体

- ・全センターにおいて、9割以上の得点率となった。
- ・新型コロナウイルス感染症の拡大から1年以上が経過し、新しい生活様式が普及する中で、センター運営においても、オンラインを活用した会議開催の工夫など更なる意識づけを進めていきたい。
- ・センター独自の取り組みによる事例や課題、その解決方法を共有し、全センター業務の平準化を図り、センター機能を向上させていきたい。